



輝いている人

世界で戦えるよう
さらに上を目指す

アジアペタンク選手権大会のジュニアの部で準優勝の好成績を収めた日本代表チームの選手として出場したのが、高校1年の芳賀みなみさんだ。ペタンクを本格的に始めてわずか10か月での快挙だ。

アジア大会は昨年12月16日から18日まで、タイのバンコクで開かれた。日本代表チームの選手は4人。試合は、3人1組で戦う形式で行われた。大会には、「平常心で、自分のなかでのベストのプレーができたらい」と臨んだ。

ペタンクは、ビュットと呼ばれる目標球に対し、相手の球より内側の球の数が得点になる。ビュットのそばにピタッと寄せる球を得意とする芳賀さん。準決勝で出場機会を得た。「ドキドキし、投げた回数はわず

かだったが、世界のレベルや技術を肌で感じ、もっと強くなりたいといけな」と大会を振り返った。

「試合ごとに上手くなった」。昨年11月、長野県諏訪市で行われたアジア大会の選考会で周囲が口をそろえた。その勢いで個人4位に入り、出場を決めた。本人は、「直前の大会で負けたのが悔しかったから」と言うが、技術も精神面も進境著しい。

普段は清音の練習場で、日本のトップレベルの人から指導を受けながら何百球も投げ込む。「見ようみまね」と、投げ方やゲーム運びを貪欲に吸収している。

きよねスポーツクラブのチラシをきっかけに、ペタンクの道を歩み始めた芳賀さん。「日本一を手にし、世界で戦えるよう、さらに上を目指す」と、静かに闘志を燃やす。

アジアペタンク選手権大会のジュニアの部に出場

芳賀 みなみさん(清音上中島)



まちたんけん

ながよし広場 こっこ

きよね夢てらすを会場に、妊婦さんや乳幼児のいる親子が、おしゃべりを楽しんだり、子育てのお話を聞いたりする「ながよし広場 こっこ」が開かれています。

月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の、いずれも午前9時30分から午後4時まで開いています。常時スタッフがいて、笑顔で皆さんをお迎えしています。

主に2歳から3歳のお子さんの利用が多い広場です。部屋は広く大型遊具で遊んだり、走ったりと、体をしっかり動かしてのびのびと遊ぶことができ、子どもたちは大満足の笑顔を見せてくれます。

また、食育サロンやママ先生のおやつ教室、離乳食教室など保護者向けの食育イベントや、子どもの年齢別の集まりなども開催しています。

利用料は無料で、予約も不要ですが、内容によっては予約、一部材料代が必要なものもあります。詳しくは毎月発行しているお便り(広場やこども課などに設置)をご覧ください。

問い合わせ こども課母子保健係 (☎92-8261)



こっこの「ママ先生のおやつ教室」で作ったおやつを食べる角谷美空ちゃん(3歳)と瑛太くん(2歳)。お母さんの佳代子さん(宿)は「子どもが喜び、親も楽しめるイベントがいろいろあって「こっこ」に来てます」と話します。

今日のテーマ

「おもしろいは違う」

絵本よんで!

『バムとケロのおかいもの』

島田ゆか・著
文溪堂



大人と子どものおもしろいは違います。大人は、すぐれた絵本を与えようとしがちですが、子どもはキャラクターの載っている絵本が好きです。そして、いろいろな絵本を読み、大人が「どこがおもしろいだろう」と思う本も、キャラクターの本も、すぐれているとされる本も、たくさん読んだなかから、おもしろいと思う本を見つけていきます。さまざまな本に出合えるようにしてあげると良いでしょう。